

佐治地域審議会意見書

○佐治中学校の今後のあり方について

【要旨】

近年、少子化、人口の流動化等により中心市街地や中山間地域では児童生徒数が減少する中で、当地域の佐治中学校においても生徒数が年々減少し、近い将来適正規模、適正配置ができず、子どもの学力の向上や集団生活等に重大な影響を及ぼすものと危惧している

ものであります。

このような地域の現状を住民が共有し、今後の佐治中学校のあり方について意見を聴くため、保育園・小学校の保護者会や町内の有識者、自治連合会の集落区長、佐治中学校の同窓会の方々と意見交換会を実施してきました。出された意見は、他の中学校と統合し、佐治地域に中学校がなくなることは地域の活力が減退するため、このまま佐治町で存続を希望するという意見と、子どもたちのより良い教育環境のためにも近隣の中学校との統合を希望するという意見の二つに分かれました。

しかしながら、地域審議会として今後の進むべき方向性について結論を先延ばしにすることは適切ではなく、子どもたちのより良い

教育環境の整備や適性規模等での人間関係や心身の育成を図る観点
からも、より適切な校区再編についてご配慮いただくことをお願い
いたします。

(平成22年3月8日資料)

佐治中学校に係る意見交換会について (10回)

1. 趣旨

近年、鳥取市の児童生徒数は、少子化あるいは人口の流動化により、中心市街地や中山間地の学校で減少し、一方で郊外の住宅地では増加しております。

学校は、集団の中で学力の向上と豊かな人間性の育成を図る場所であり、また、集団の規模が小規模であったり、逆に大規模すぎて、適正規模・適正配置が出来ないと、子どもの個々の能力の伸長や集団の活力や学力の向上に支障を来すことが考えられます。

佐治中学校においても生徒数は近年減少してきており、今後の教育環境について懸念されており、地域の子供たちのために地域住民みんなで、中学校の今後のあり方について話し合うものであります。

2. 佐治町における今日までの佐治中学校に関する取り組み

(1) 旧佐治村議会

- ①平成4年：旧佐治村議会において、中学校統合の考え方について質問。
- ②平成6年：佐治・用瀬両町村議会に、佐治・用瀬中学校組合立化問題研究会を設置。
- ③平成7年：中学校組合立化について、旧佐治村企画審議会において審議。
- ④平成8年：審議会より中学校組合立による統合への答申。
- ⑤平成9年以降：旧佐治村議会・教育委員会が類似の他県の状況等を視察。引き続き議会で質問がなされているが、具体的な取り組みに至っていない。
- ⑥平成12年以降：市町村合併問題への対応で中学校問題の議論は中断した状態となった。

(2) 佐治地域審議会

- ①平成19年8月から平成21年10月までに6回、佐治中学校の現状や今後のあり方について意見交換・議論がなされた。
- ②平成21年11月、鳥取市長に佐治中学校の今後のあり方に係る意見書(統合を含めた適切な校区再編を要望)を提出。

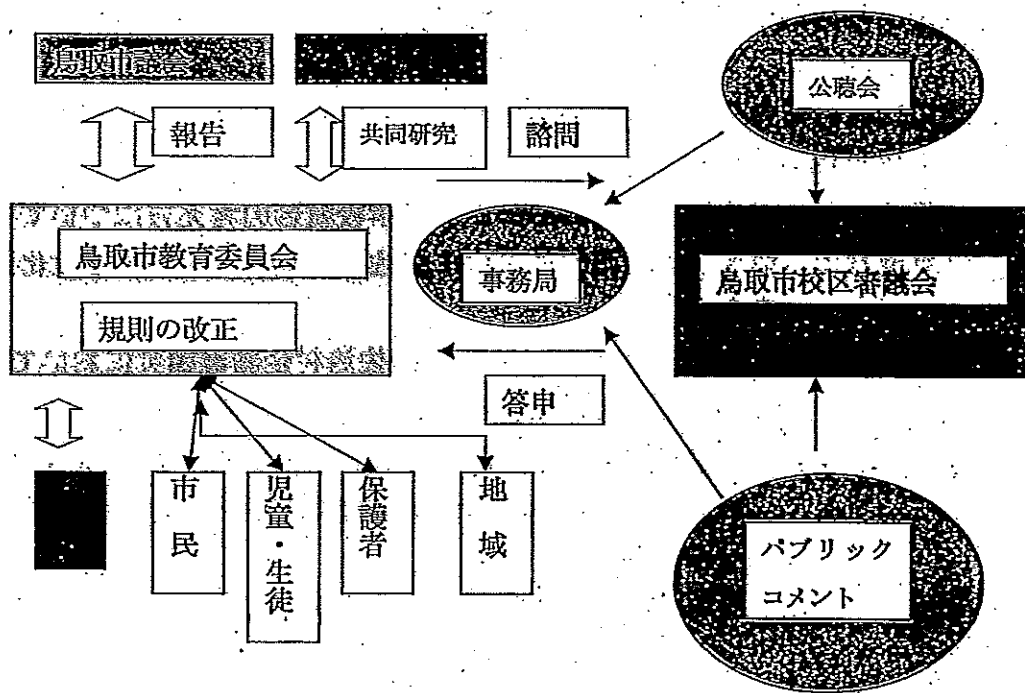
(3) 保護者、住民等との意見交換会

- ・平成20年11月から平成22年1月までに、町内有識者、自治連合会役員会、区長連絡協議会、佐治中学校同窓会、佐治小・中学校保護者会、2保育園保護者会、住民と延べ9回開催。

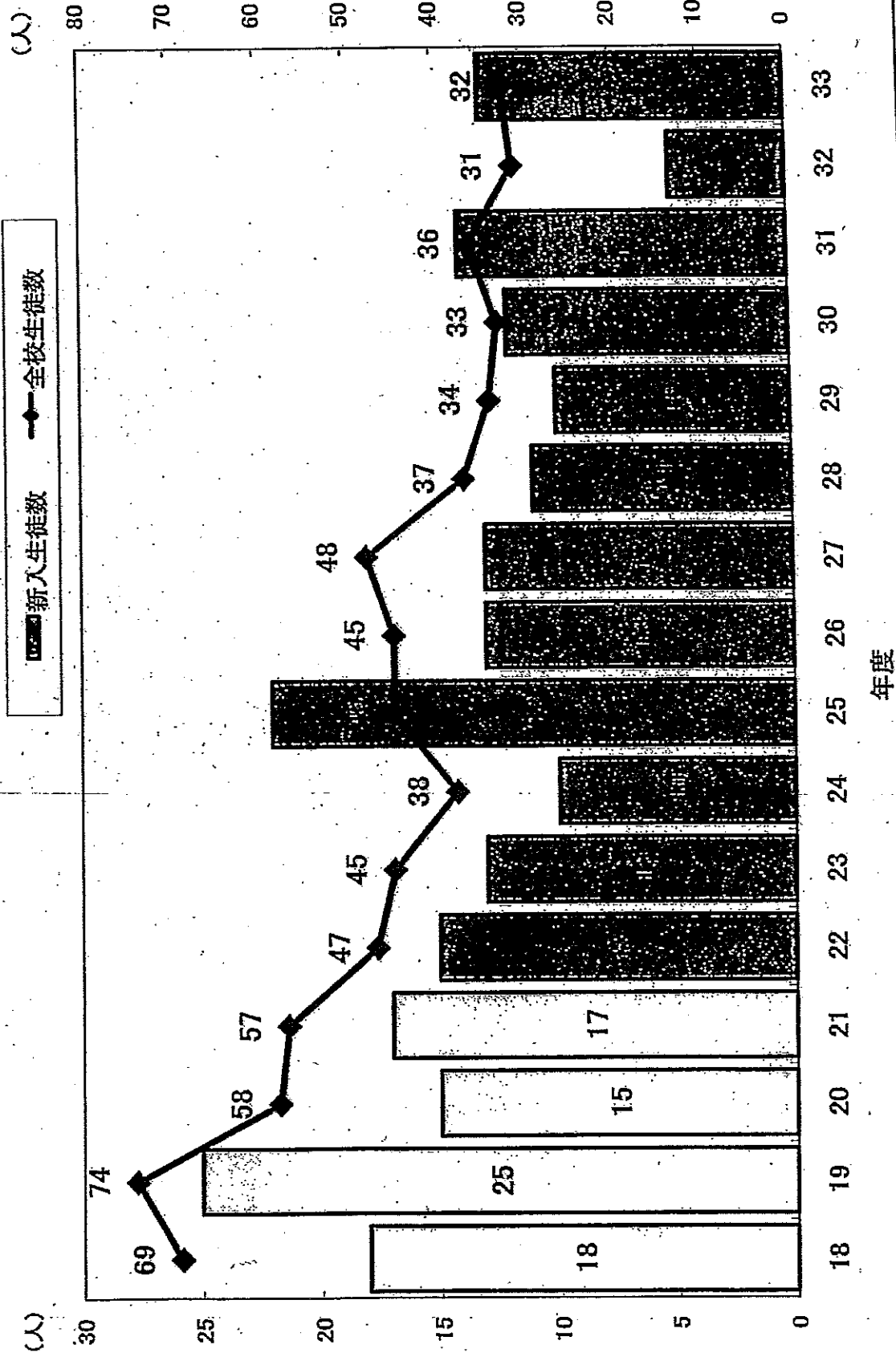
3. 今後の予定

- ・鳥取市校区審議会で今後審議されていくこととなるが、最終的に決定するのがいつ頃になるか、現在のところ未定である。

組織関連図

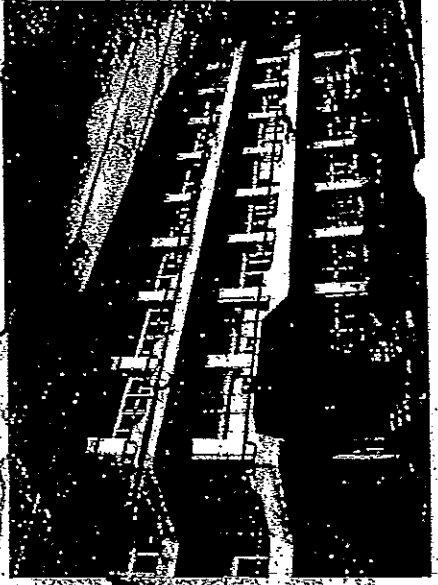
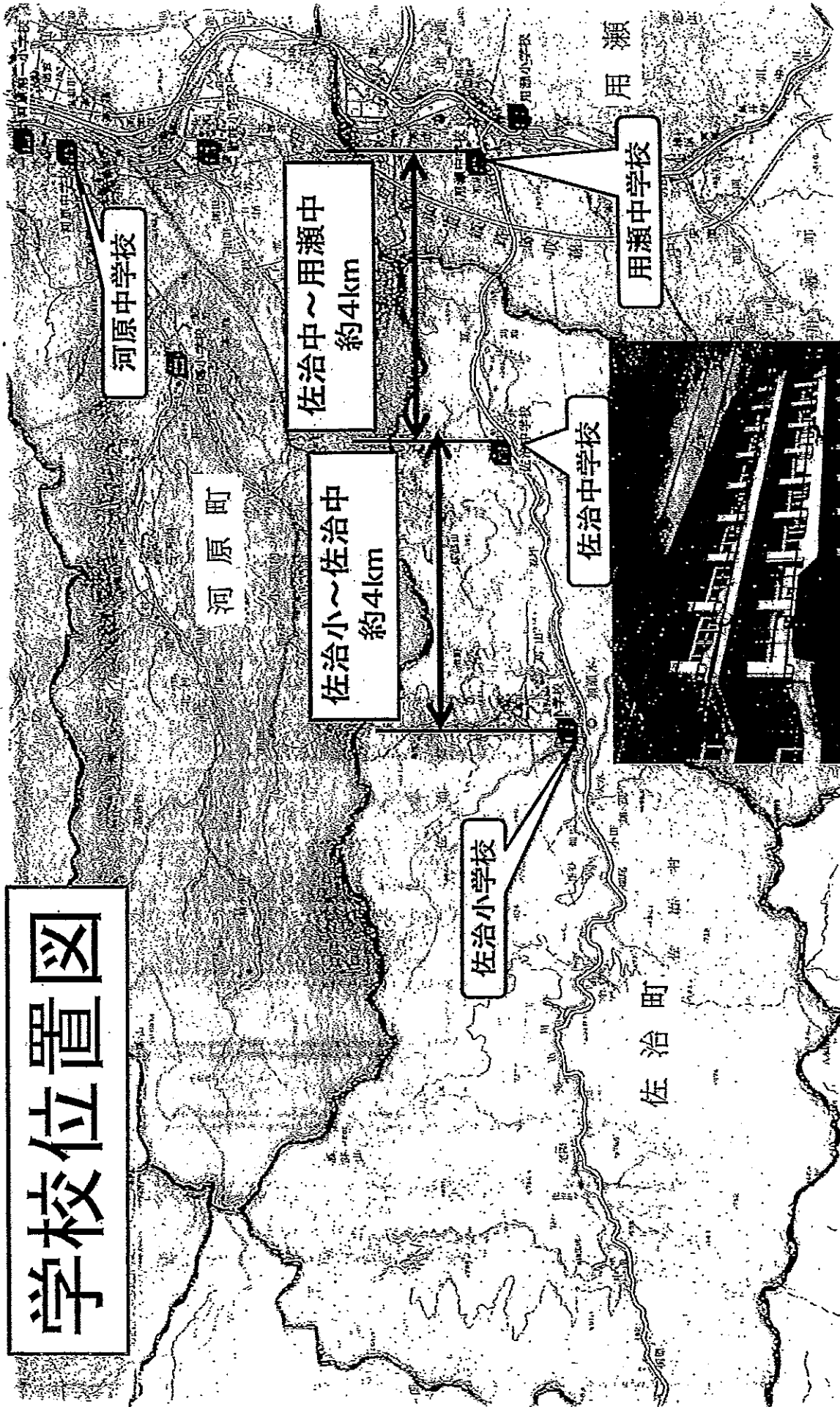


佐治中学校の生徒数の推移



※H21年度までは学校要覧:H22年度以降は住民基本台帳上の人数

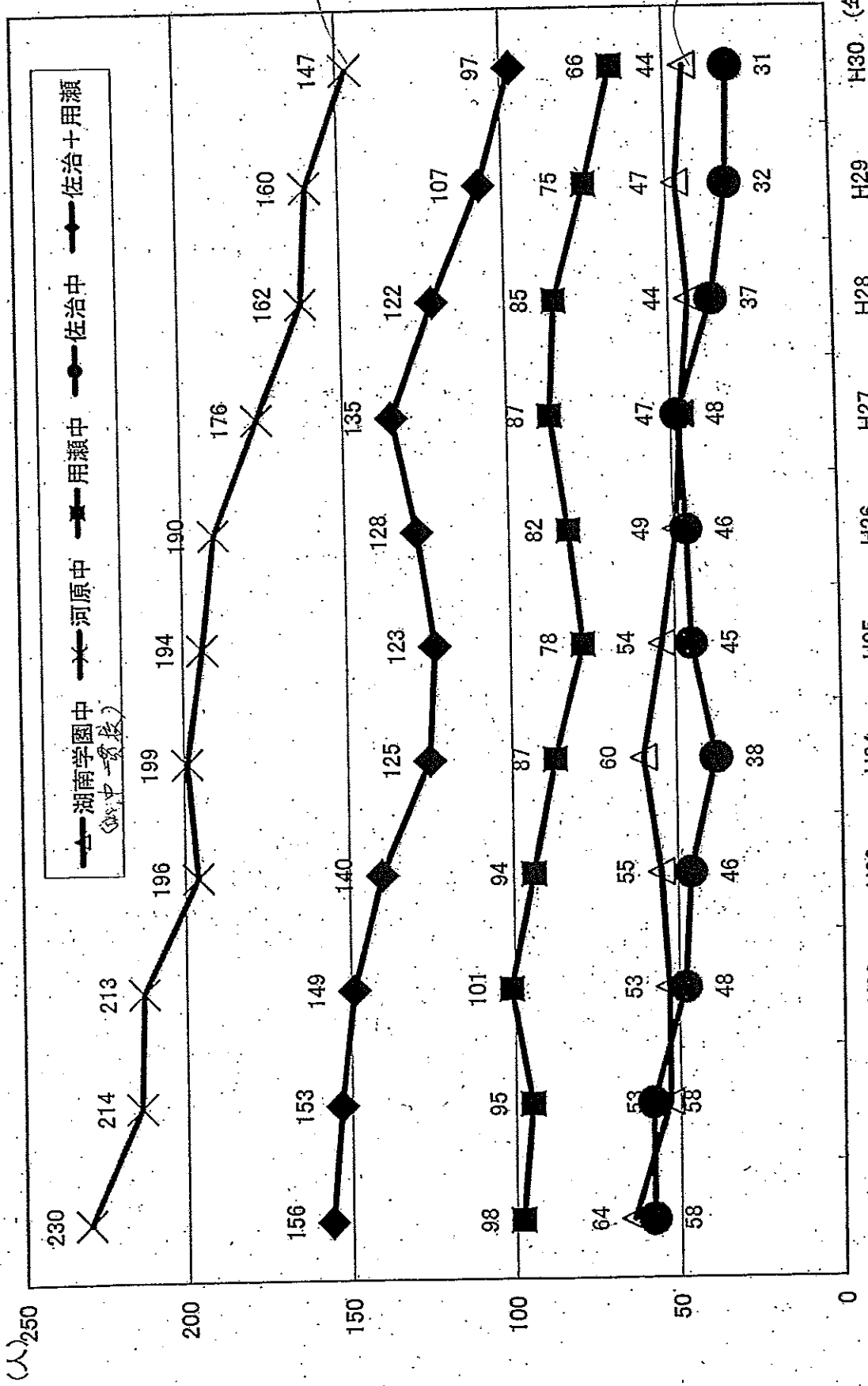
学校位置図



(別紙2) 平成20年度以降の生徒数及び標準学級数初・中(中学校)

学校名	各年度毎の学級数 及び新入生徒数										平成20年5月1日現在の学級数・生徒数										各年度毎の学級総数及び生徒総数 (特別支援学級数・特別支援学級生徒数を加える)									
	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度	1年	2年	3年	特別 支援 学級	計	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度					
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数				
東中	4	3	5	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	5	4	17	16	16	15	15	15	16	17	16	16	16				
西中	139	120	172	139	133	148	112	151	126	147	153	155	161	17	486	472	443	441	406	428	410	437	461	448	448					
南中	110	86	127	101	105	97	107	108	105	105	103	97	119	2	321	307	315	320	322	314	311	305	335	316	325					
北中	299	288	303	254	269	254	229	225	230	238	193	227	205	8	633	666	669	701	692	716	760	795	834	853	898					
江山中	137	170	165	191	166	158	157	135	170	165	141	155	159	6	461	467	482	476	468	456	487	521	528	532	478					
高草中	37	36	34	26	30	41	29	32	28	33	37	31	47	0	115	101	98	93	89	102	100	97	90	96	107					
湖東中	133	122	148	118	112	119	100	119	100	126	116	115	119	4	354	361	346	349	342	354	347	346	382	392	407					
湖南学園中	239	266	259	234	226	235	231	208	235	225	198	209	220	23	650	655	681	691	697	697	715	718	742	782	787					
櫻ヶ丘中	13	17	13	16	14	16	18	19	19	13	17	22	24	1	64	53	53	55	60	54	49	47	44	47	44					
中/郷中	204	232	250	218	219	232	241	234	256	208	217	205	231	8	661	638	689	706	739	715	700	677	696	708	694					
国府中	146	134	156	151	139	135	136	119	140	125	125	122	127	6	380	378	396	390	401	396	416	431	452	447	442					
福部中	79	82	73	68	84	65	71	50	70	57	53	64	68	3	188	177	183	180	194	189	223	220	228	226	237					
河原中	20	29	23	29	34	23	31	30	23	30	45	34	27	0	106	109	98	83	84	88	88	86	86	81	72					
用瀬中	43	48	51	56	50	65	70	54	70	67	71	71	83	5	230	214	213	196	199	194	190	176	162	160	147					
佐治中	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
気高中	24	19	23	33	29	25	28	25	34	35	32	28	38	0	98	95	101	94	87	78	82	87	85	75	66					
鹿野中	11	9	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
青谷中	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	58	58	47	45	37	45	46	48	37	32	31					
合計	59	54	71	77	73	83	72	74	76	89	74	100	88	4	266	267	243	243	226	233	232	237	225	206	188					
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	7	7	6	5	4	4	4	4	4	4	4	4				
	24	31	33	27	25	28	27	34	39	44	43	55	51	2	151	144	128	119	102	91	82	82	87	83	90					
	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7					
	43	38	44	45	54	52	55	48	58	72	55	62	77	5	199	194	190	183	166	160	166	156	148	132	130					
	53	54	58	52	53	53	50	49	52	54	50	52	55	32	189	188	187	183	183	184	188	190	195	196	197					
	1,760	1,781	1,956	1,795	1,776	1,791	1,743	1,678	1,796	1,797	1,688	1,777	1,862	94	5,421	5,356	5,375	5,365	5,311	5,306	5,404	5,456	5,621	5,626	5,591					

生徒数の推移



国府地域審議会意見書

1 国土交通省殿ダム工事事務所庁舎の利活用について

【要旨】

本審議会では、殿ダム本体の完成に併せて不要となる殿ダム工事事務所庁舎の利活用について、国府地域の重要課題と位置づけ、平成19年10月25日開催の第16回地域審議会以降、数多くの議論を重ねてきました。

「国府地域のためにどういう施設として利用するのが最もふさわしいか」を検討する中で、福祉施設、保育園、総合支所、地区公民館等への利用について議論してきましたが、『総合支所機能の移転・利用が最良』との結論に至りました。

この殿ダム工事事務所庁舎は平成8年に建設され、合併前の国府町時代から殿ダムの完成後には、国府町役場庁舎として利用できるものと考えられていたこと、また、耐震構造でもあり庁舎として優れた機能を有しています。

なお、現国府町総合支所は昭和37年に建築された庁舎で、耐震面や各災害対策支部機能面などで問題があります。

本審議会としては、国府地域に総合支所を今後も存続していく必要があると考えますので、現殿ダム工事事務所庁舎を市が購入し、国府町総合支所新庁舎として利活用できるよう切に要望します。